令和7年度大野市小山小学校スクールプラン

児童の実態
・やさしく素直
・新しいことにチャレンジする気持ちが弱い

教育目標
心豊かにたくましく生きぬく子の育成

保護者・地域の願い
・思いやりの心を持つ
・学力、体力をしっかりつける
・ふるさとを大切にする

校訓　愛汗喜働

SDGsの推進

めざす児童像

- 思いやり、感謝の心を持つ　いふりっこ
- めあてを持って学ぶ　いふりっこ
- 心と体をきたえる　いふりっこ
- ふるさとを大切にする　いふりっこ

重点目標

◎自己肯定感を高め、自信を持って行動できる子を育てる。
○人権意識を高め、一人一人の個性やよさを認め、互いを思いやり感謝する心を育てる。
○礼儀礼節を大切にする子を育てる。

◎自ら問いを立て、主体的に追究していく児童を育てる。
○対話や交流を通して、課題を解決していこうとする児童の育成に努める。
○夢や目標に向かってがんばる心を育てる。

◎自分の健康は自分で守る意識を高め、心身ともに健やかでたくましい子を育てる。
○愛汗喜働の精神を発揮し、最後まで、自分らしく粘り強く取り組む心を育てる。

◎家庭・地域に開かれた学校を推進し、「地域コミュニティ」の一端を担う子を育てる。
○ふるさとのよさを知り、ふるさとを愛する心を育てる。
○校区の連携を充実させ、魅力ある学校づくりに努める。

研究テーマ　つながり合って学びを深めるいふりっこの育成
～「小山小150プロジェクト」を核としたカリキュラムデザインの工夫～

具体的方策

・意図的に共有体験を創出し、結果ばかりでなく児童の努力の過程を認めたり褒めたりする。
（学校は楽しい 90%以上）←87
・道徳教育、人権教育、縦割り班活動や学級活動を充実させ、互いを思いやり認め合う気持ちや態度を育てる。
（友だちのよいところを認め、仲良くすることができる　100%）←97
・「全児童を全職員で」を合言葉に、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように絆づくりに努める。
（先生、友だち、家・地域の人に気持ちのよい挨拶と言葉遣いをしている 100%）←100

・興味関心を持てるような課題を提示し、学習を進める中で、新たな課題を見出していけるような授業づくりをする。
（授業に自分から進んで取り組んでいる　95%以上）←94
・児童同士でのつながりのある授業に挑戦し、児童が学びを実感できるように努める。
（授業では、自分の考えを発表したり、友だちに質問したりして、自分の考えをよりよくしようとしている 90%以上）←88
・自分事になるようなめあてを設定させ、主体的に取り組む姿勢を育てる。
（将来の夢や目指す目標をもち、それに向かって頑張っている　95%以上）←94

・「わたしの健康」等を活用し、自分の健康や成長を意識した生活ができるようにする。
（「早寝、早起き、朝ご飯」を心がけて生活している　100%）←97
・不安や悩みを教職員や SC 等に相談できる環境を整える。
（不安や悩みを相談できる友だちや先生がいる　90%以上）←80
・体育・いふりっこタイム等に体を動かして運動の楽しさを味わい、記録に挑戦できる場の設定を工夫する。
（体育の時間、いふりっこタイムや昼休みには、よく体を動かして楽しんでいる　100%）←100
・清掃や農園活動に一所懸命に取り組み、愛汗喜働の精神を育む。
（掃除、ふれあい農園活動で一所懸命に取り組んでいる100%）←100

・地域の素材を活用して体験的な活動に取り組む。
（ふるさと小山・小山小学校が好きだ 100%）←100
・学校便りや学校インスタグラムを通して、適時・適切な情報発信をする。
・南小との交流を通して、自校の良さを再発見する。
（南小との交流活動に楽しく参加している　100%）←100
・「150プロジェクト」に児童が主体的に取り組むことを通して、ふるさとを愛する心を育て、持続可能な未来を創る人財を育成する。

※(　)外数字は、R6年度の数値

〈業務改善の取り組み〉　・学校行事、会議のあり方の見直しと精選　・ICT 機器を活用した会議や情報伝達の効率化
・在校時間の短縮化（毎日 18 時退庁、月1回定時退庁を目指す。計画的な早下校の実施）・「ハッピー年休」取得の奨励